



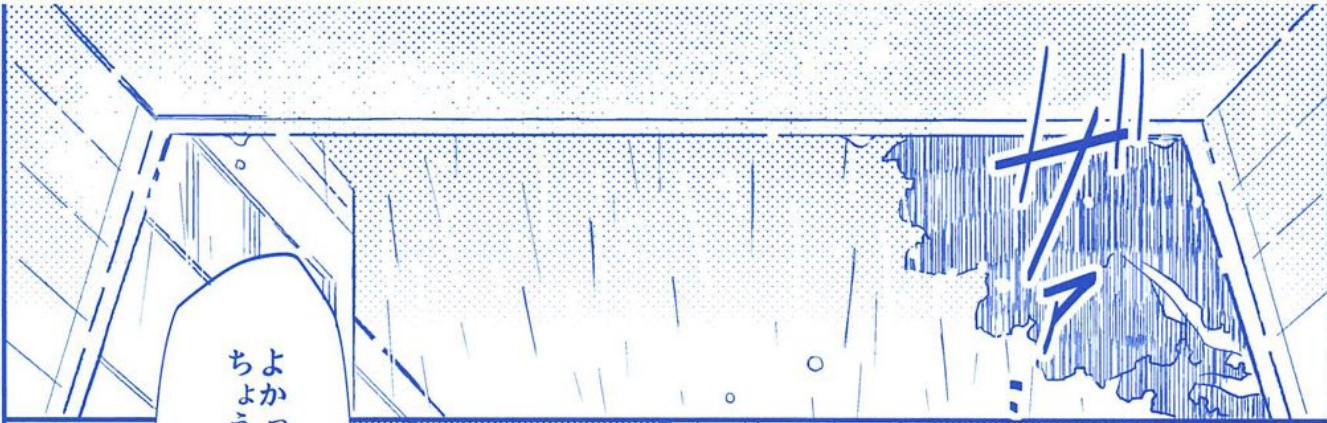
き
の
た

め

世
界



きみのための世界



よかった。
ちようどだったね



お疲れ様

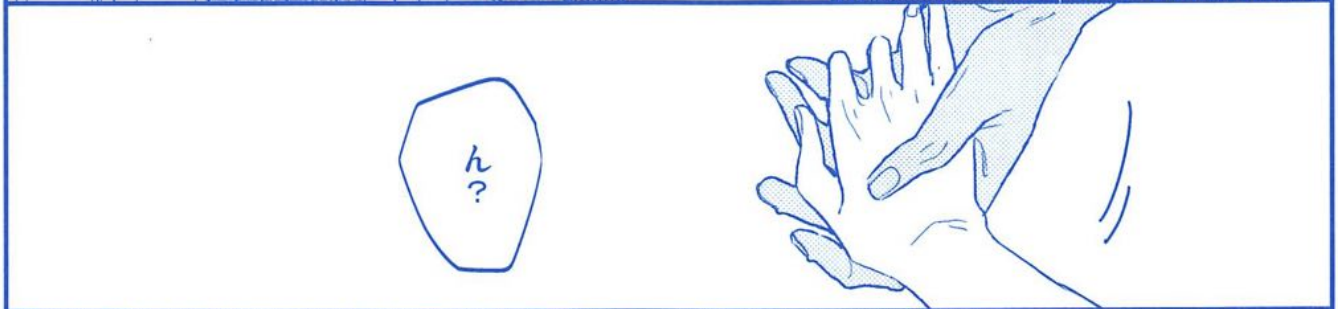
今日はポアロが
早上がりだったから
迎えに来ちゃった



近くに車を
停めてあるんだ
少し歩かせることに
なってしまうけど…

ごめんね。
ここら一带は
道が狭いから
入れなくてね

はいて



ん？



あれ
バレてた？

うん、本当は
すぐ脇の道に
停められる



なんでって
そりゃあ…

可愛い恋人と
こうして
ひとつの傘を
二人で共有して

ゆっくり歩くのも
悪くないだよ
思ってたんだよ

それなら
これなら

恥ずかしがり屋の
きみも人目を
気にせずに近づいて
くれるかなって

ふふ

そう
ちよっとした
下心だね

なんだ…
知らなかったのかい？

僕は存外
ずるい男だよ

飲み会？

ふうん

あ、ああ…
嫌とかそういう
ことではないよ

職場での付き合いも
必要なことだろうし

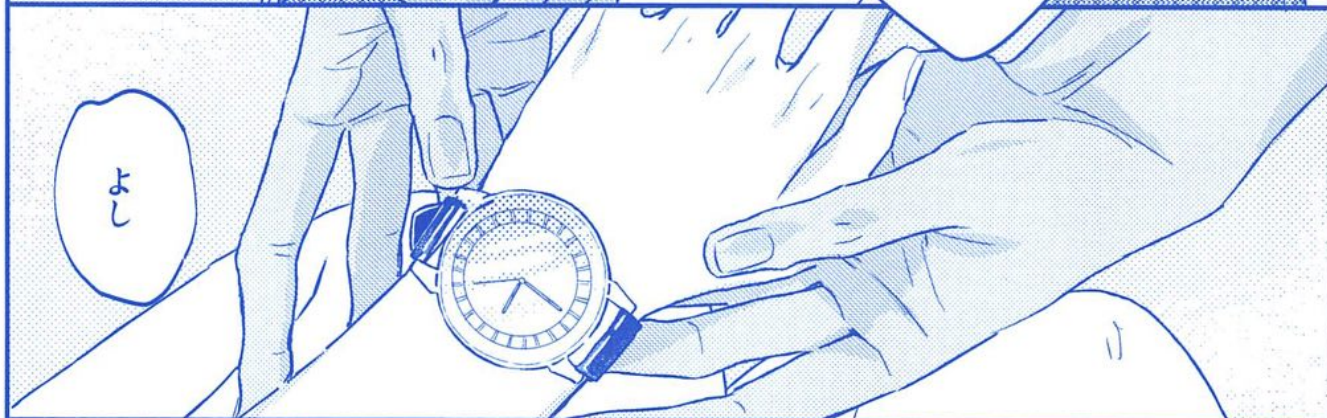
ちゃんと参加する
心持ちでいる
きみは偉いな
とさえ思うよ

ただ少し…
心配なだけさ



これ、付けて行って

メンズ用だけど
そこまで無骨な
デザインでもないし
きみでもギリギリ
つけられるだろう



よし



まあ所謂…
牽制だよ

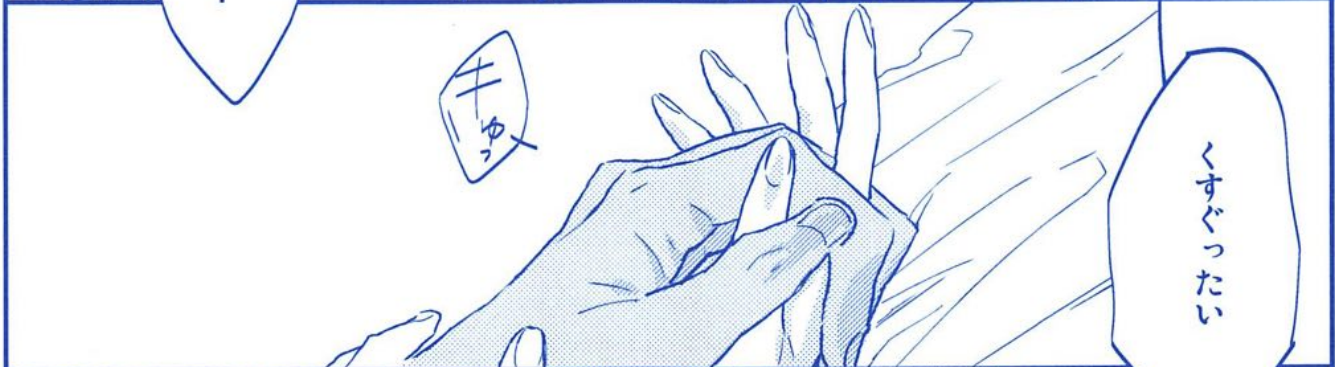
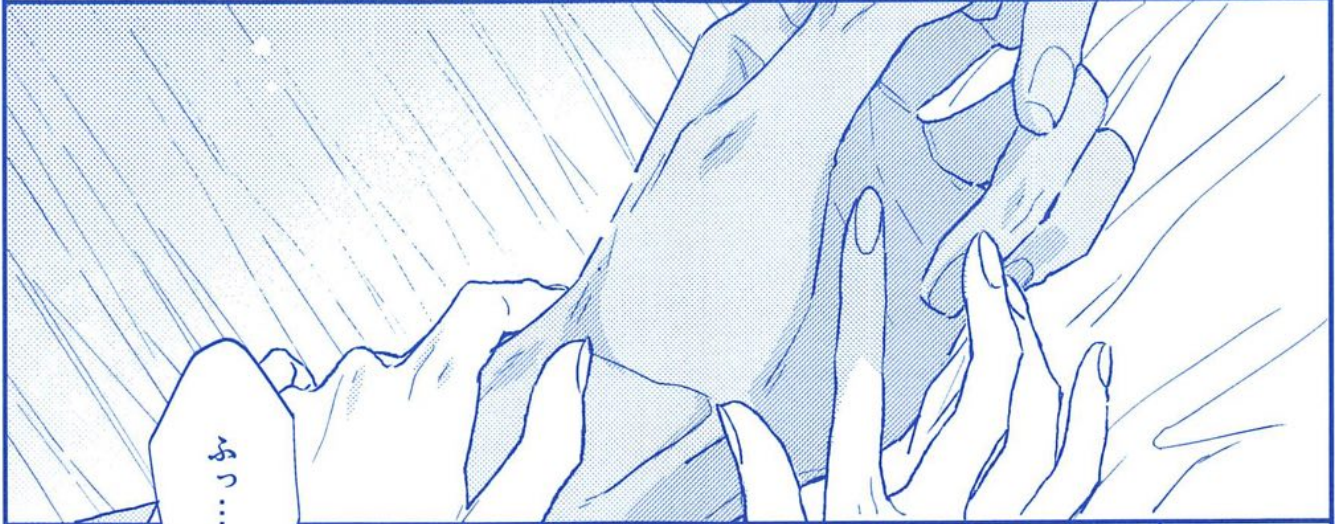
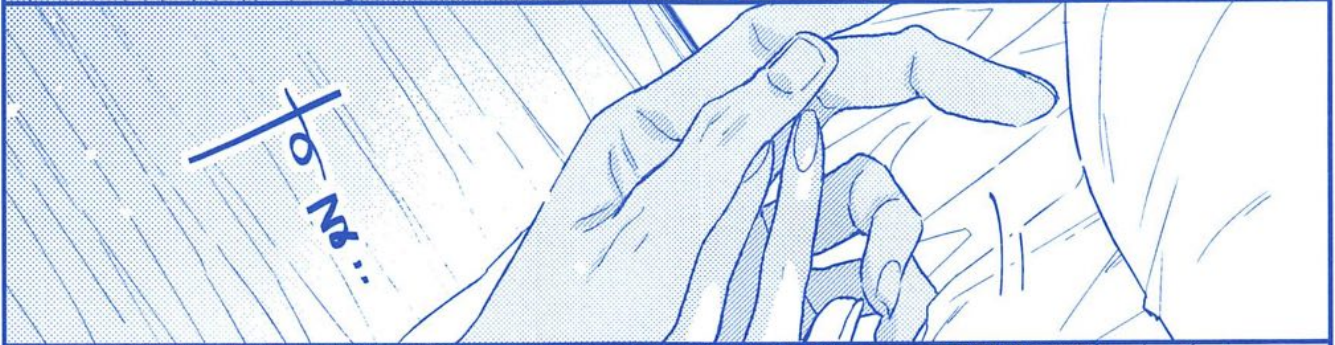
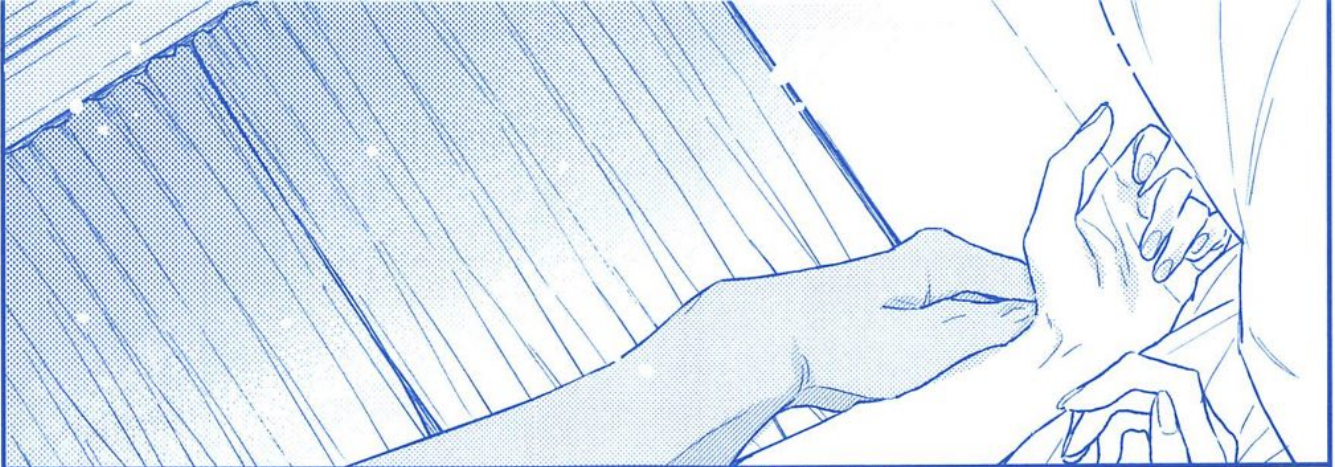
きみの職場にいる
男たちを悪く言う
つもりはないけれど

とはいえ
男は狼だって
よく言うだろう？



心配性な
僕の為にも

付けていて
くれるかいて



おっと

そっちから
ちよっか
かけてお
いいて
逃げるの
か？

僕をけし
かけるの
なら
それ相
応の覚
悟を
してお
いてく
れないと

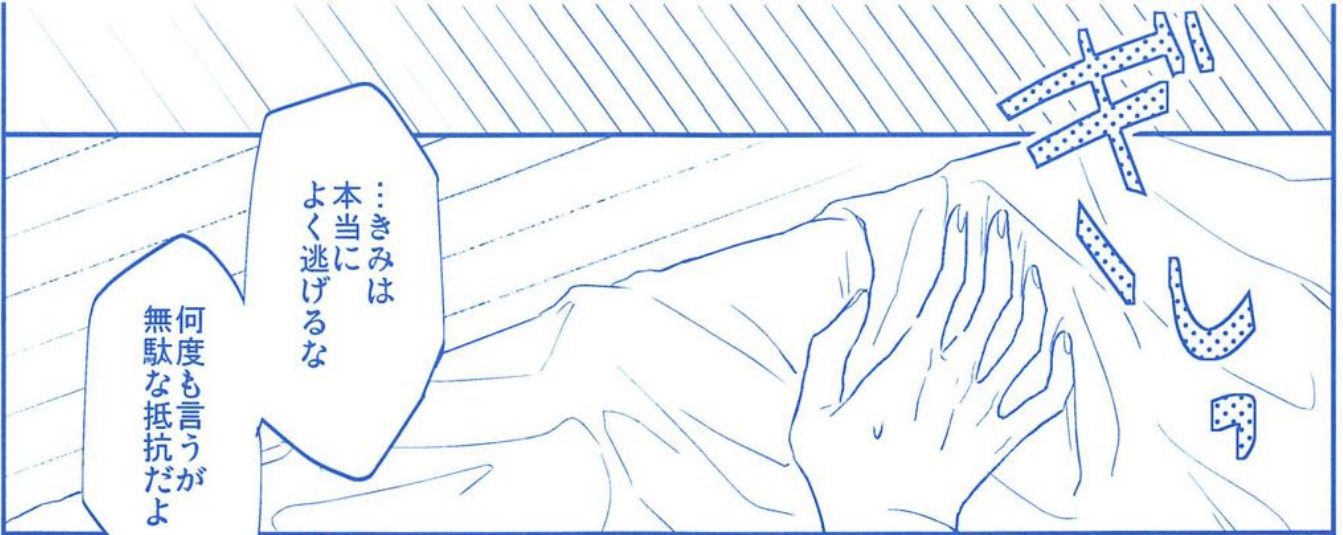
……

なんだろうな……

こうい
う時
僕も
まだ
まだ
若い
なと
感じ
るよ

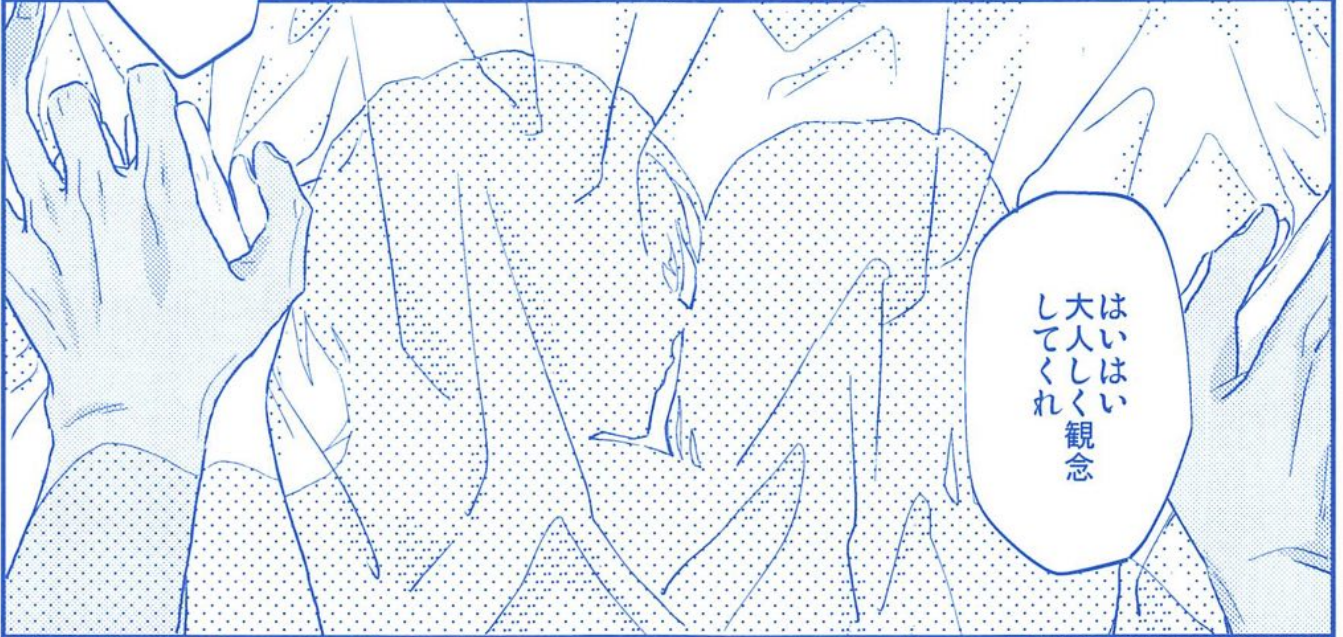
その台
詞が
親父
臭い
って……

ははっ……
手
厳
しい



…きみは
本当に
よく逃げるな

何度も言うが
無駄な抵抗だよ



はいはい
大人しく
観念
してくれ

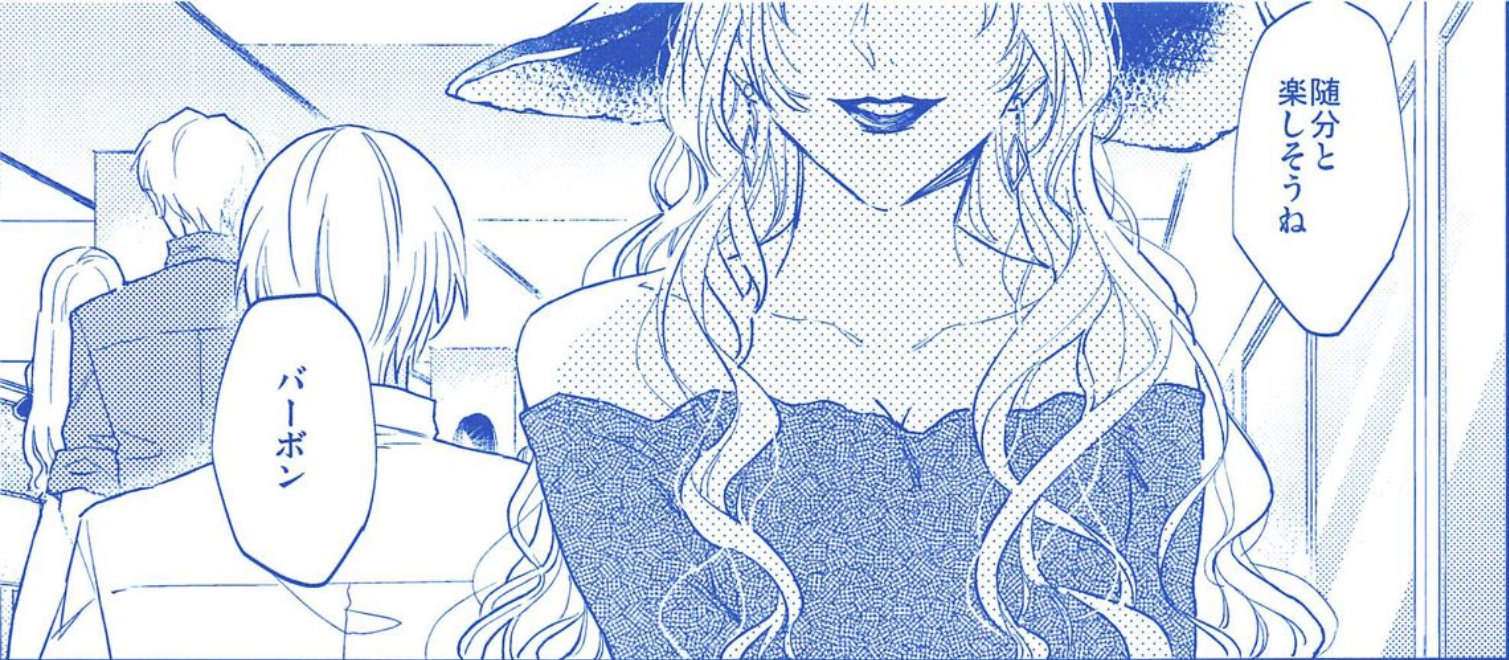


ん？着ないで
寝るのは昔からの
癖だと言ったろう？



わざとじゃないさ
たぶん、ね





随分と
楽しそうね

バーボン



ーベル

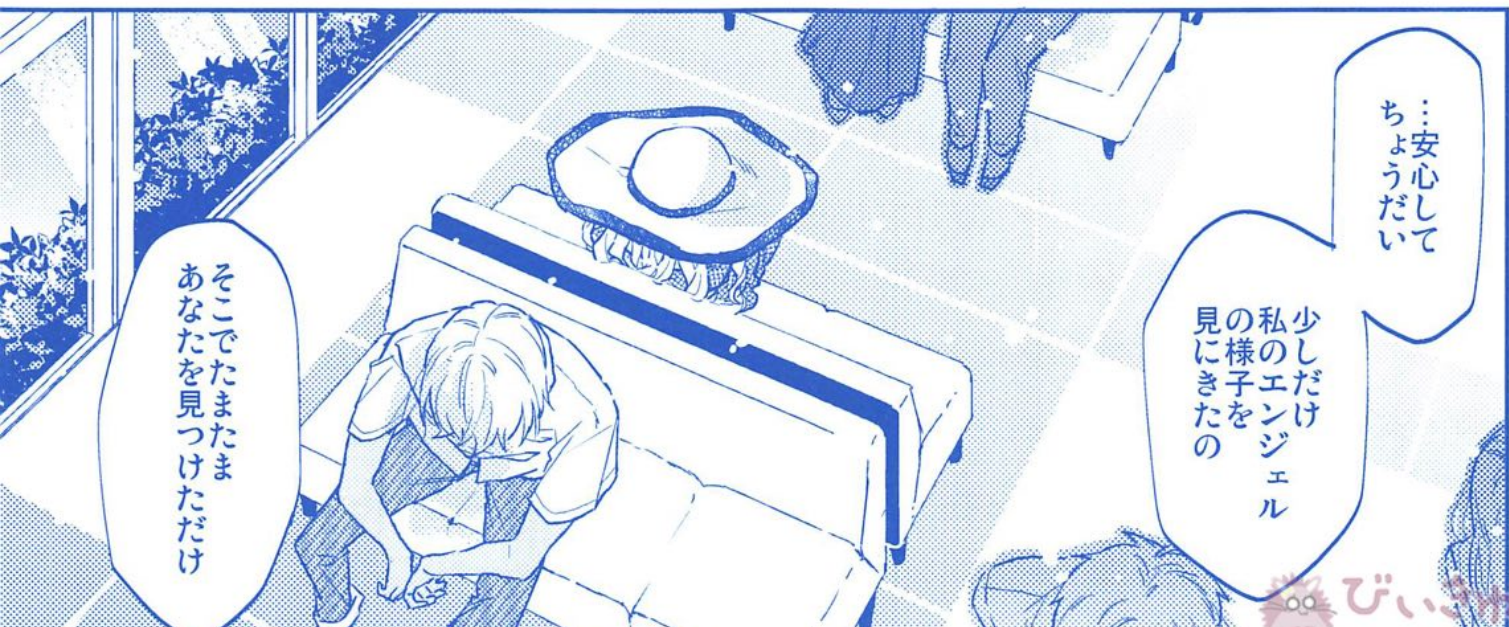
こんな人の
往来にいて
大丈夫なんですか



あら
心配してくれるの？
組織には優しいのね

そうですね…
あなたが脅威と
なるのであれば

その心配も
捨てざる
を得ませんが



…安心して
ちょうだい

少しだけ
私のエンジェル
の様子を
見にきたの

そこでたまたま
あなたを見つけただけ



そんなに
怖い顔しないで
ちようだい

せっかくの
愛しい人との
幸せな逢瀬には
相應しくないわ

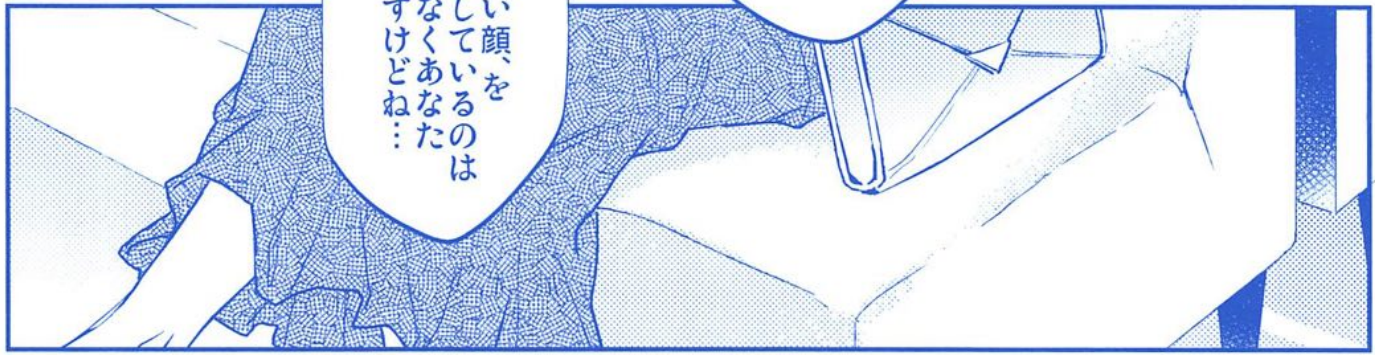


まさかあなたが
恋人と楽しげに
歩いている姿を
見ることに
なるなんてね

……



…あなたは
昔も今も
実に掴みどころ
のない女性だ



その怖い顔を、を
引き出しているのは
紛れもなくあなた
なんですけどね…



何しろ
眠れないと
悲嘆に暮れる
女性に対して

梅昆布茶を
薦めてくる
ような男だもの



ふふ
恨みごと？
余裕がないのねえ

そんなんじゃ
すぐに愛想を
つかされちゃうわよ



余計なお世話
だったみたいね

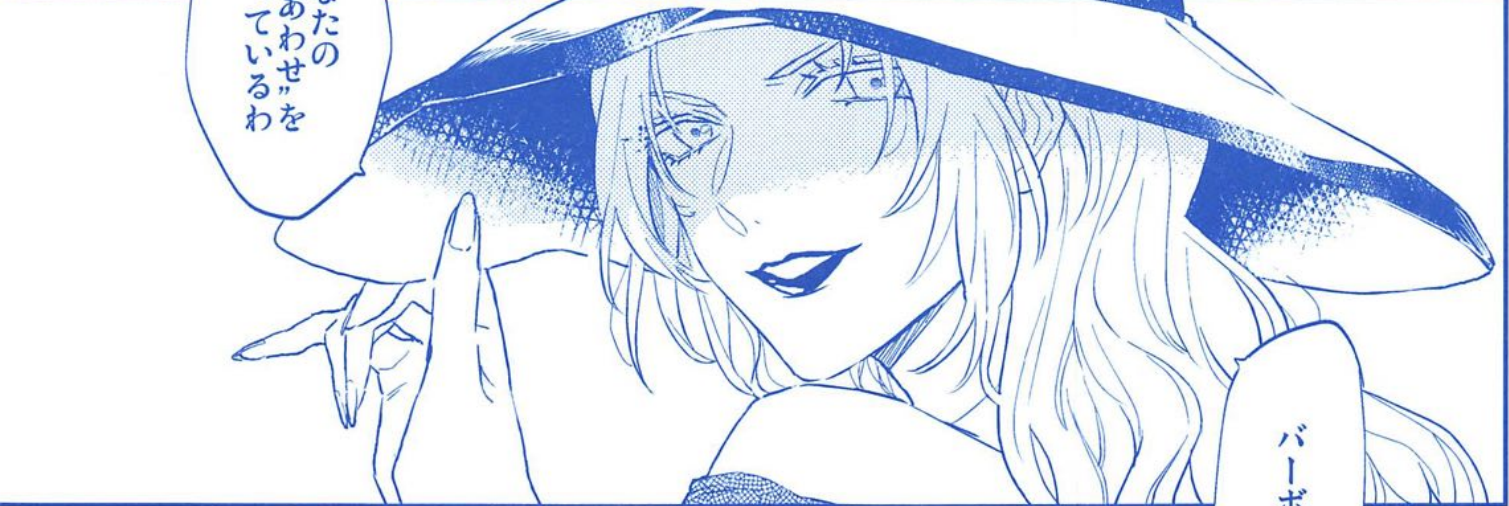


残念なことに
彼女は喜んで
飲んでくれる
ひとなので

あなたが懸念
するようなのは
何一つありませんよ



あなたの
“しあわせ”を
祈っているわ

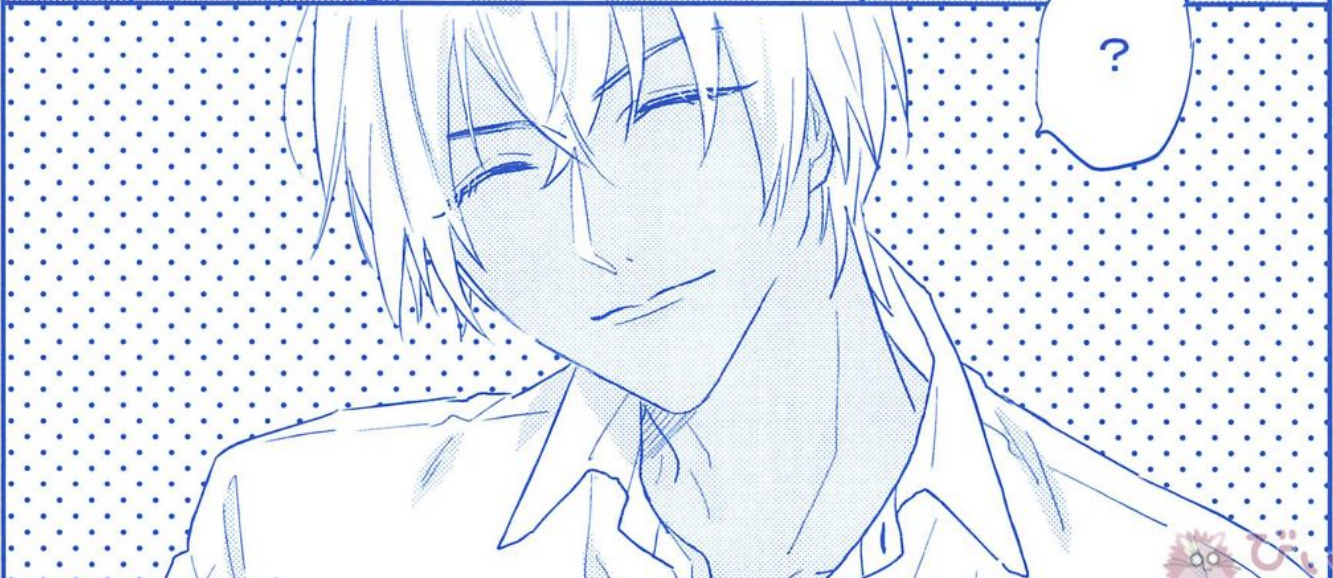


バーボン





おかえり



?

さてと
そろそろ
行こうか

ポップコーン？
うん食べよう

そういえば
ここのチュロスも
好きだった
言っただけ？

ねん：
え：

梅昆布茶
好きだったよね

くす
くす

いや？
何でもないと
思っただけ

僕ときみは
好みがあうな
よなあって

ね。



えーっと…
そんなに
わかりやすく
態度に出てる??



えっ



降谷さん
なんだか機嫌が
いいですね



あー…
はあ

どことなく
浮足立っている
印象を受けます



まあ…はい

じっくり人間観察する
癖のせいもあるとは
思いますけど



理由はポアロを
やめなかったこと
と関係ありますか?

やっぱりきみには
何でもお見通し
だね…そうだよ



きみがコナンくん
だった時はね
こんな初歩的な
ミス早々犯さな
かったのだけど



ここで…
安室として
知り合ってた
女性がいるんだ

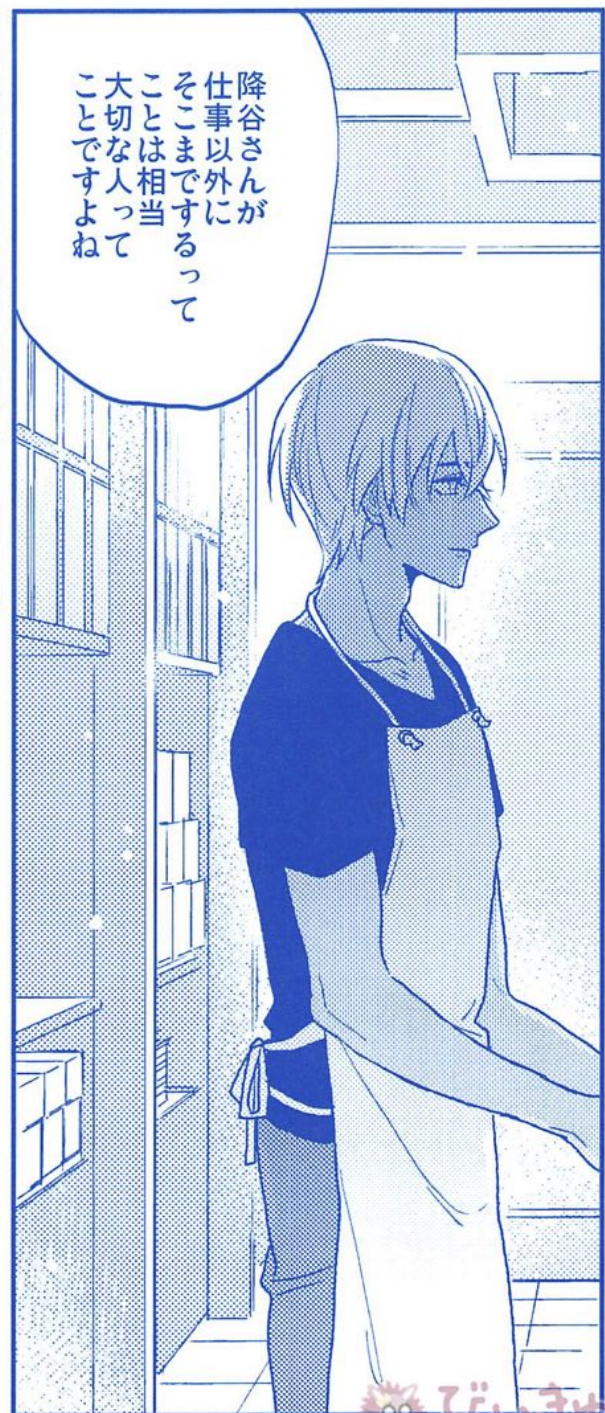
へえ！
俺結構ここ
来てますけど
全然気づき
ませんでした

そりゃあ気づかれ
ないように細心の
注意を払っていたから



こんな職業
だからね

作るつもり
なんてさらさら
なかったんだよ



降谷さんが
仕事以外に
そこまでするって
ことは相当
大切な人って
ことですよ

“どんな人間でも
等しく誰かを
愛する権利はある”



でも俺、本当に
その通りだと
思うんです

どんな時だって
その大きな想いが
自分や誰かを
支えてた



ははっ
バレました？



それ、最近
ベストセラーに
なった小説の
一節だよ



いつだって大事なものを
全力で守り抜く姿勢を
本当に、尊敬しているよ



椰揄って
なんか
いないさ。

…きみは会う度
ない男に
なっていくねえ

椰揄わないで
くださいよ

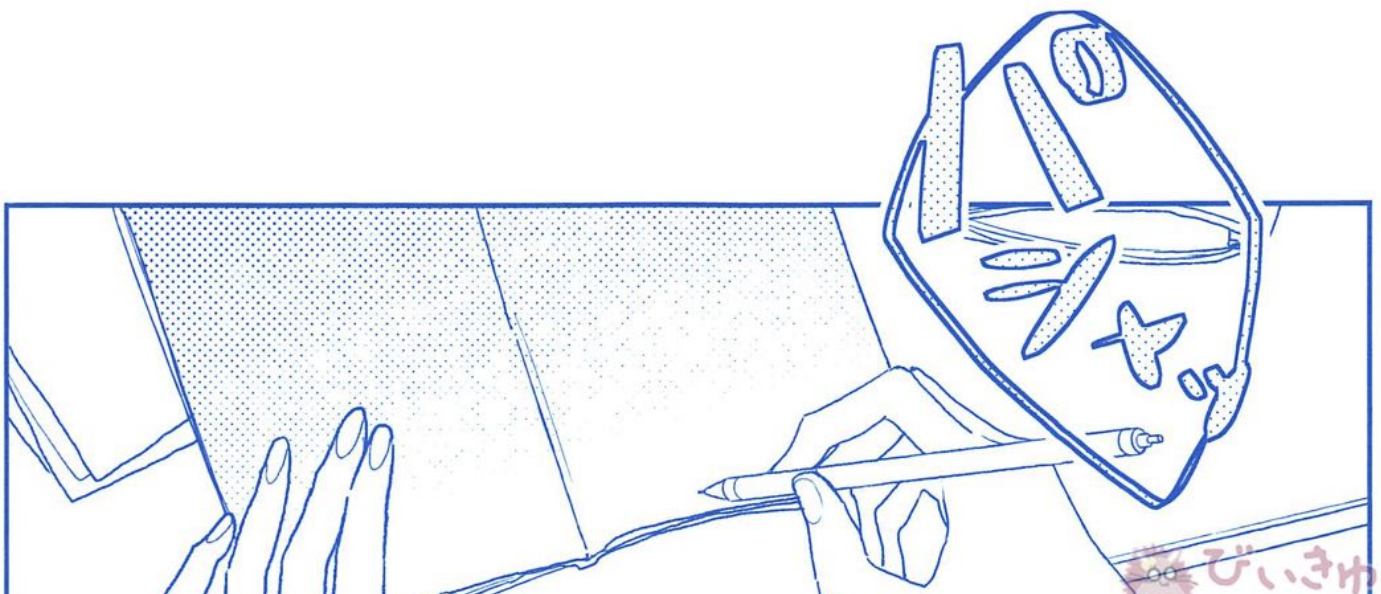


…そんな
ことはないよ



降谷さんだって
そうじゃないですか

あなたが誰よりも
守ることに
長けているのは
知っていますよ



ううん
何でもないから
そのまま続けて

休みの日も
資格試験の勉強を
しているきみは
邪魔するつもりは
ないからね

……

真剣な姿が
可愛くてつい

ごめん

まあさすがに
冗談だけど

消さないよ
最近年甲斐もなく
きみ専用のフォルダを
作ってもいいかなって
思ってるくらいなんだ



とと...

カッ



うん：
写真はいいよな

過ぎ去っていくもの
たちを、ひととき
思い出して
懐かしんで...

そしてまた
あの頃に負けない
くらいの日々を
築いていこうと
思えるだろ？

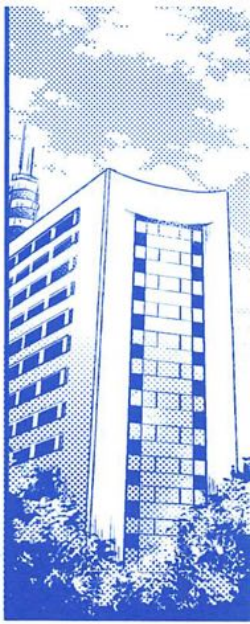
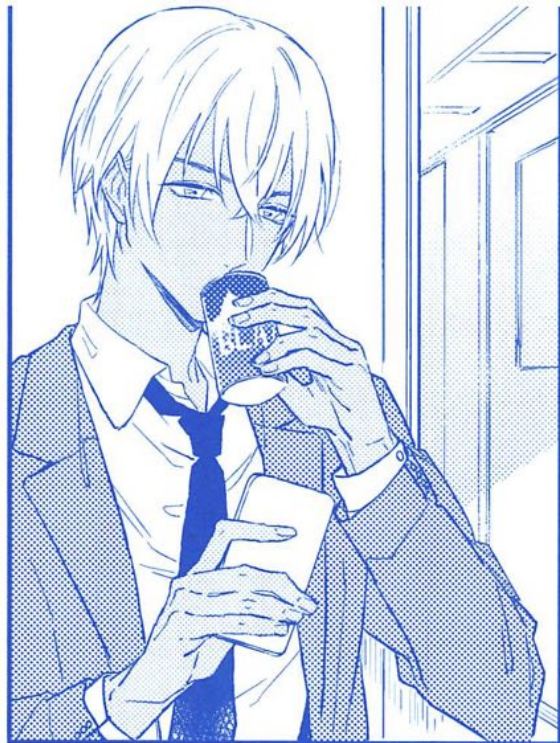


当たり前のよう
で難しいけど

きみとなら
できると
思ってるよ



きみも
そんな顔を
するんだな



……
一瞬ですよ

相当気が
緩んでいるようだ

まさかとは思うが
携帯に気を取られて
俺に気付いて
いなかったのか



赤井



それで
写真の女性は
恋人か？



違う

それは
お互い様でしょ



まったく抜け目
ない奴です
他人の携帯を
勝手に見るな
FBI

職業柄かな
視界に入ったものは
くまなく探ってしまう



……
はい



そうか……

もう写真を
残しても
問題はな
い状況な
んだな



人の惚気話ほど
つまらないな
ものはないな

お前が話を
振ってきた
んだらう



柄にもなく
浮かれて
いるんですよ

あなたにこんな
ことを言っ
てしまっ
たらいい
にはね

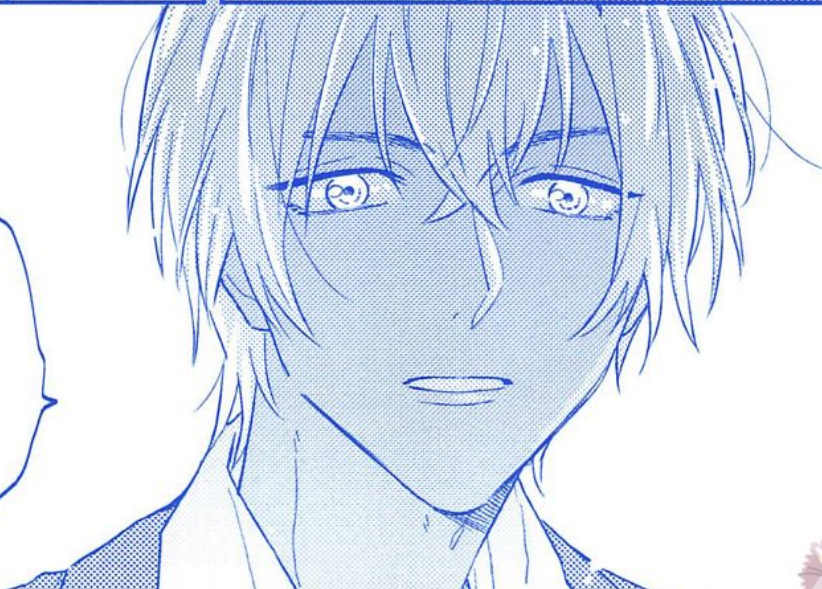
ただ……



降谷くん



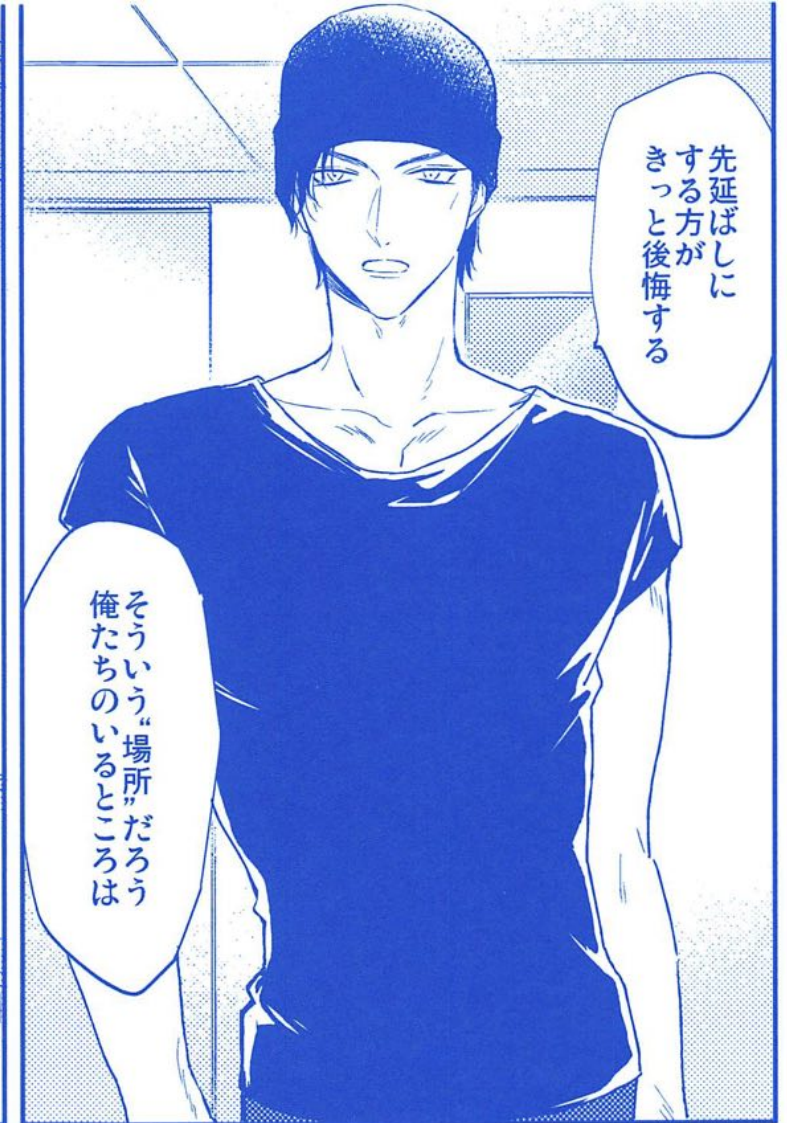
務め…





…驚きました

あなたでも
そんな考え方を
するんですね



先延ばしに
する方が
きつと後悔する

そういう“場所”だろう
俺たちのいるところは



年の功ってやつさ

……

…赤井
ありがとうございませぬ

降谷さん!!



先日新しくできた
ショッピングモールで
大規模の爆発が
起こりました

原因は不明
今は人命の救助に
あたっています

被害の規模は

現時点では
なんと...

ただ幸いなことに
爆発元は
中心部では
ないようです



降谷さんの...

今日たまたま
事務の応援で
モール内の
店舗にいたと
部下から報告が



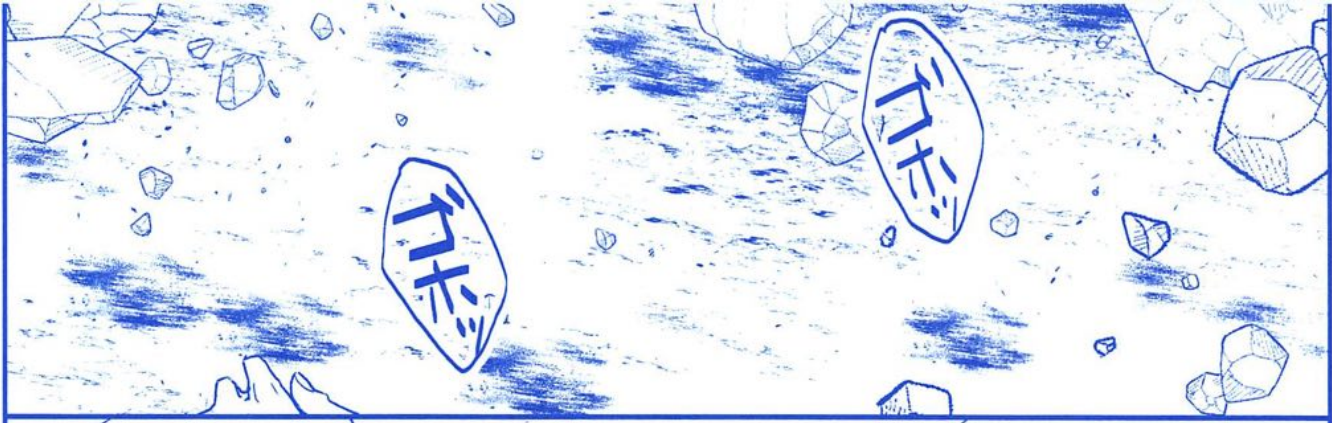
それと...



今度は俺も
力になる



降谷くん



降谷くん
こっちだ!!

っ...!!

よかった
意識が
あるのか...!

風見!

はい!
既に連絡は
いってるので
救助隊もすぐに
到着します

私はもう一度
この辺りを
確認します

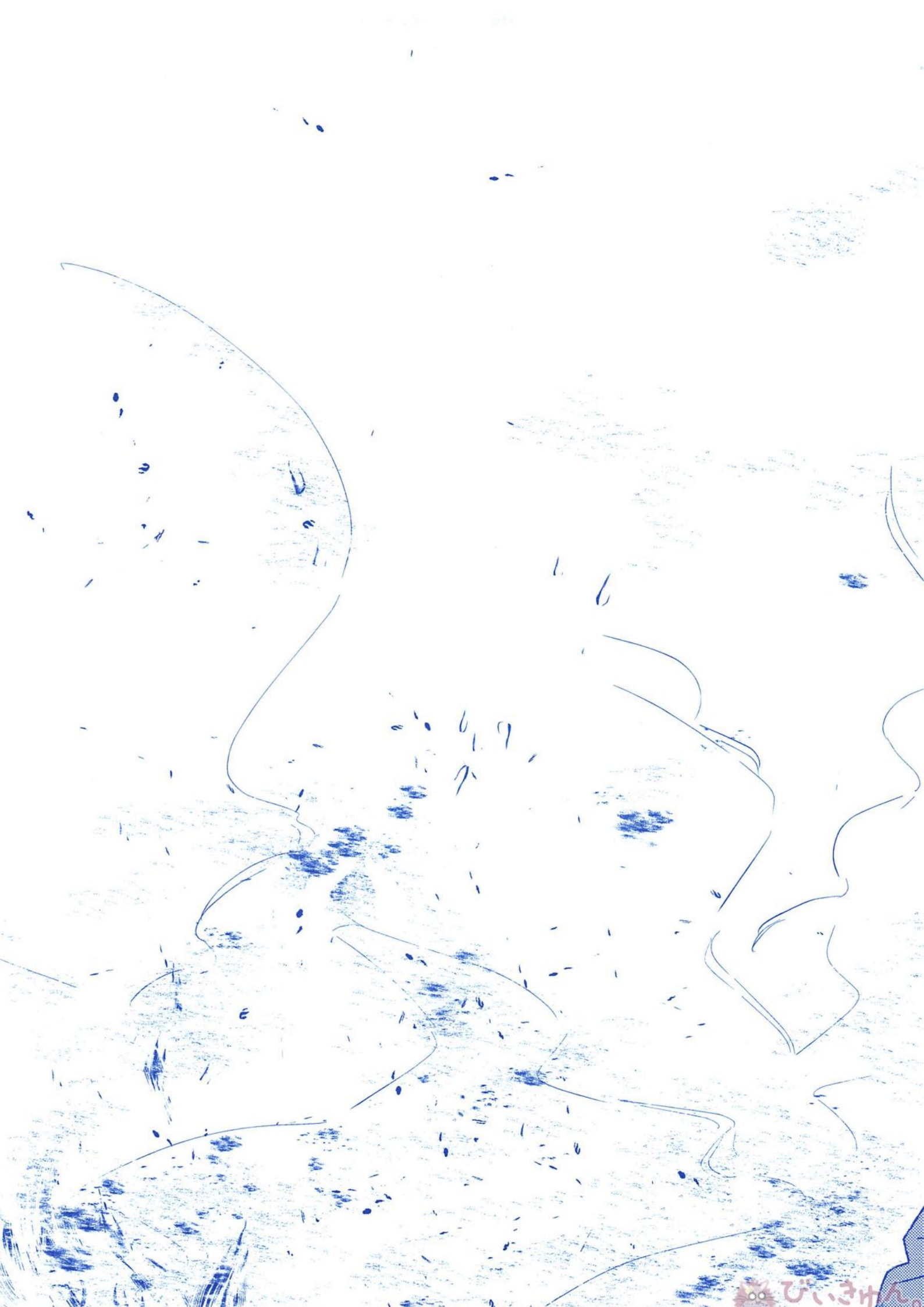
ああ。
すまない
頼む

じっとして
安静にするんだ

血は流して
いないようだが
頭を打っている
かもしれない


すぐ救助隊が
来るからきみは
自分のことだけ
考えて








こんな時にきみは…
何を言ってるんだ…



きみは今の今まで
命を落とすかも
しれなかつたのに
そんなことが
大事なのか？



僕の、俺の
本当の名前
なんて…



そう…
そうだよ

まさかこんな形で
きみに知らせる
羽目になるなんて

あとで赤井^{あいつ}に
文句のひとつでも
言っつてやらないと
いけないな…





つかぬことを
お伺いしますが

とうとう
お伝えに
なれるんですか



腹立たしいことに
赤井にも釘を
刺されたんだ

ああ……
なるほど……

?



まさか
お前にまで
訊かれるとは
思わなかった



漸く名前は
伝えられたけれど
相変わらず秘密
ばかりの生活だし

この場所で
戦い続けるかぎり
彼女を不安に
させる要素は
ないんだよな



そりゃ
思ってるよ



これは…俺の
我儘なのかも
しれない

それでも俺が
幸せにしたい



それでこそ
降谷さんです





まだ戻れる

今ならばまだ
彼女を手放して

お互い別の道に
生きることが出来る

この音があいつを
追い詰めた

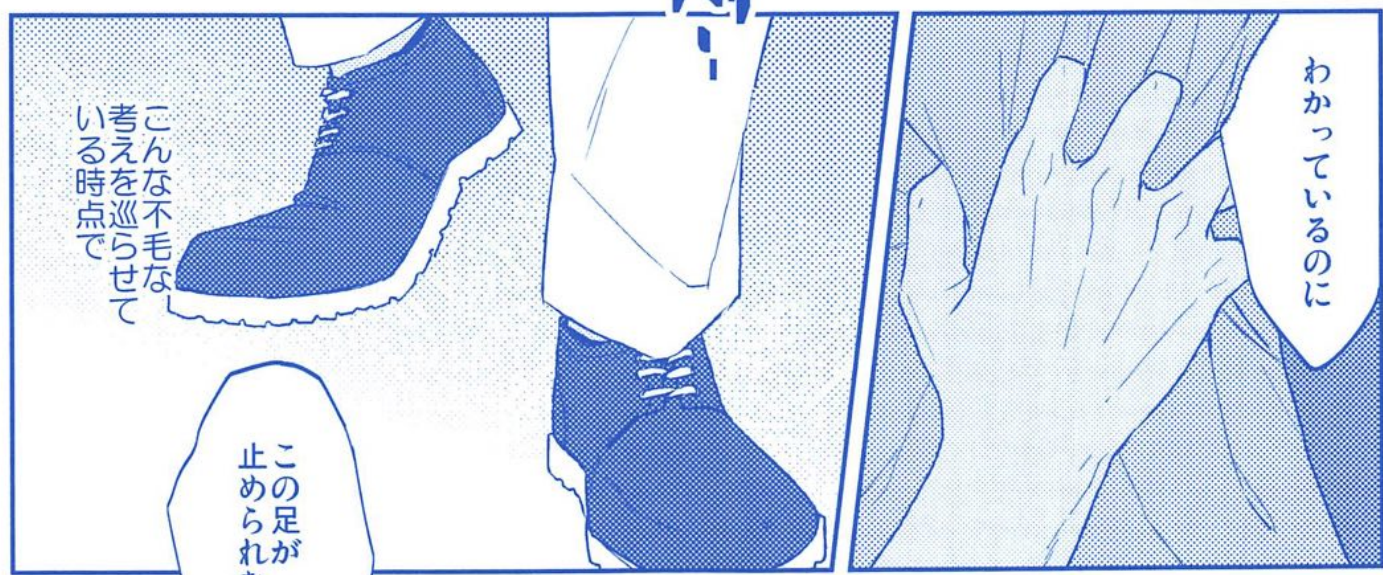
僕は取り返しの
つかないことを
してかじったんだ



そしてまた

あの時と同じくらい
惨いことを
しようとしてる

はっ…

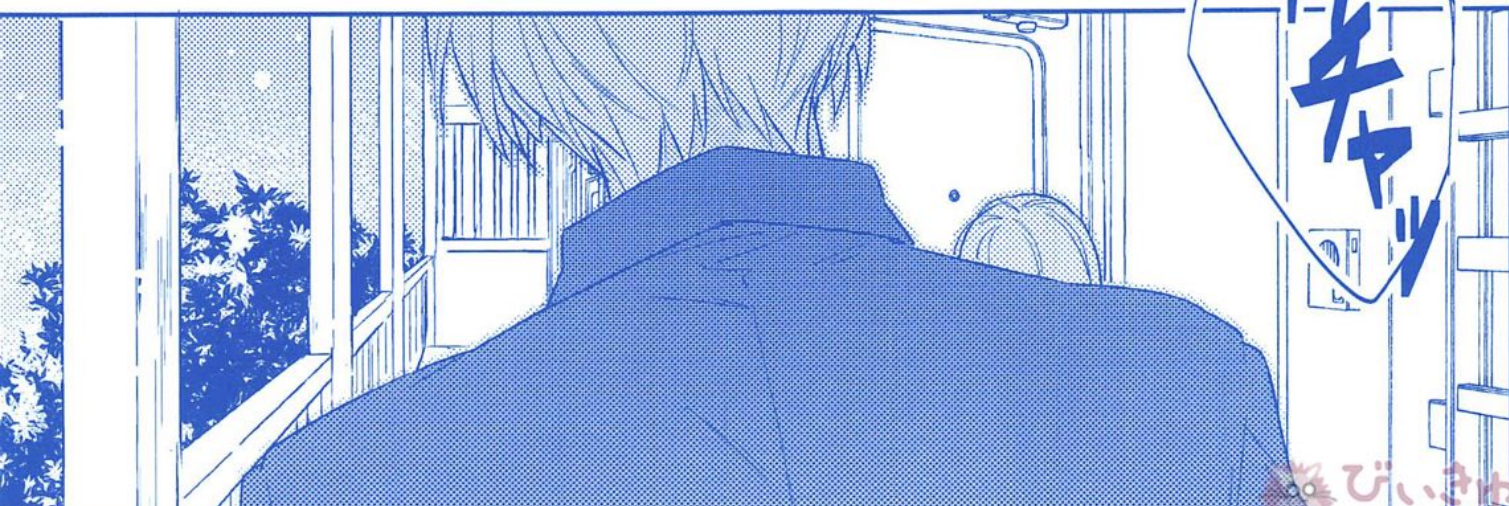


わかっているのに

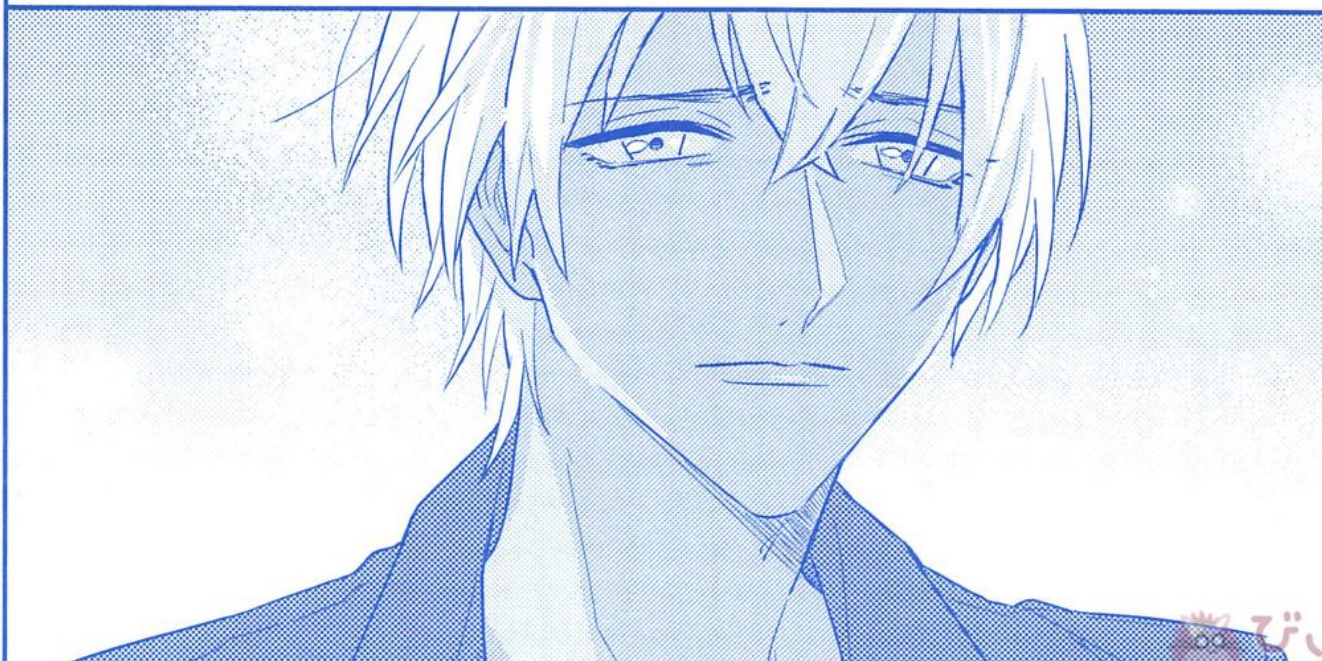
こんな不毛な
考えを巡らせて
いる時点で

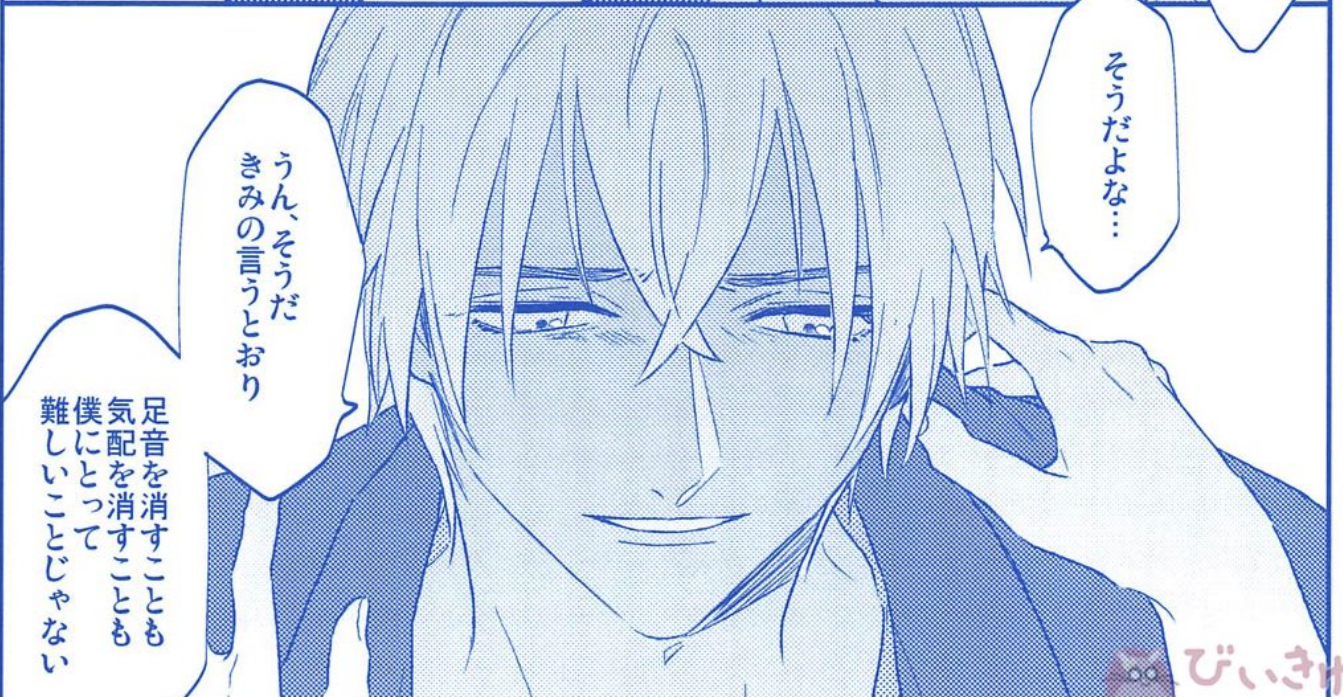
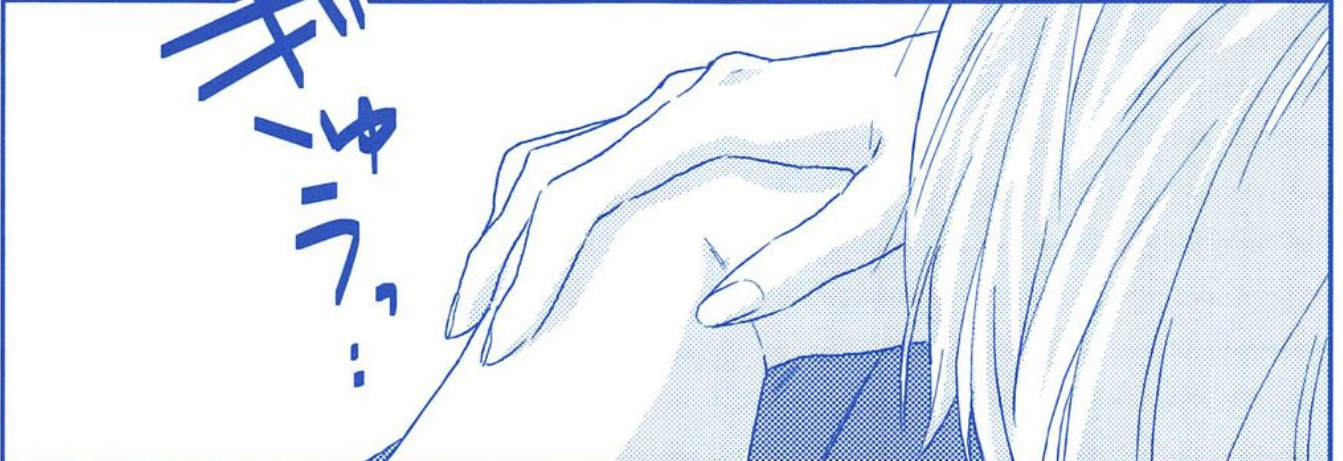
この足が
止められない

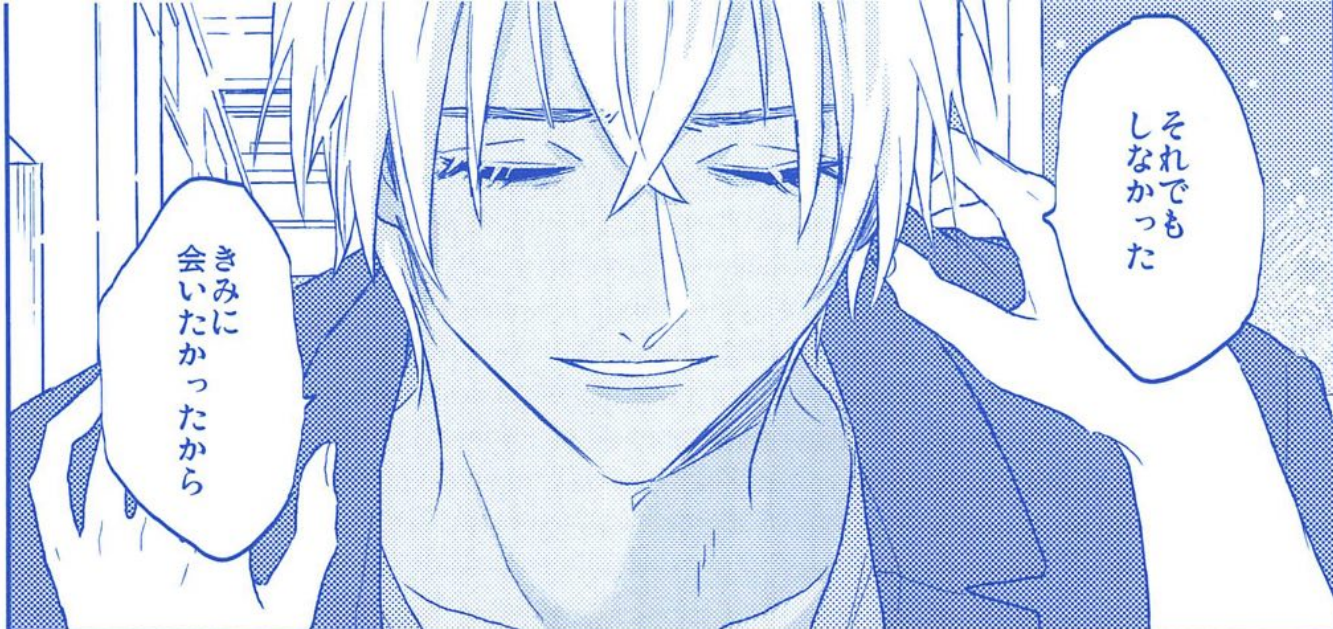
彼女から
離れるなんて
到底、無理な話
だというのが



ガキヤツ

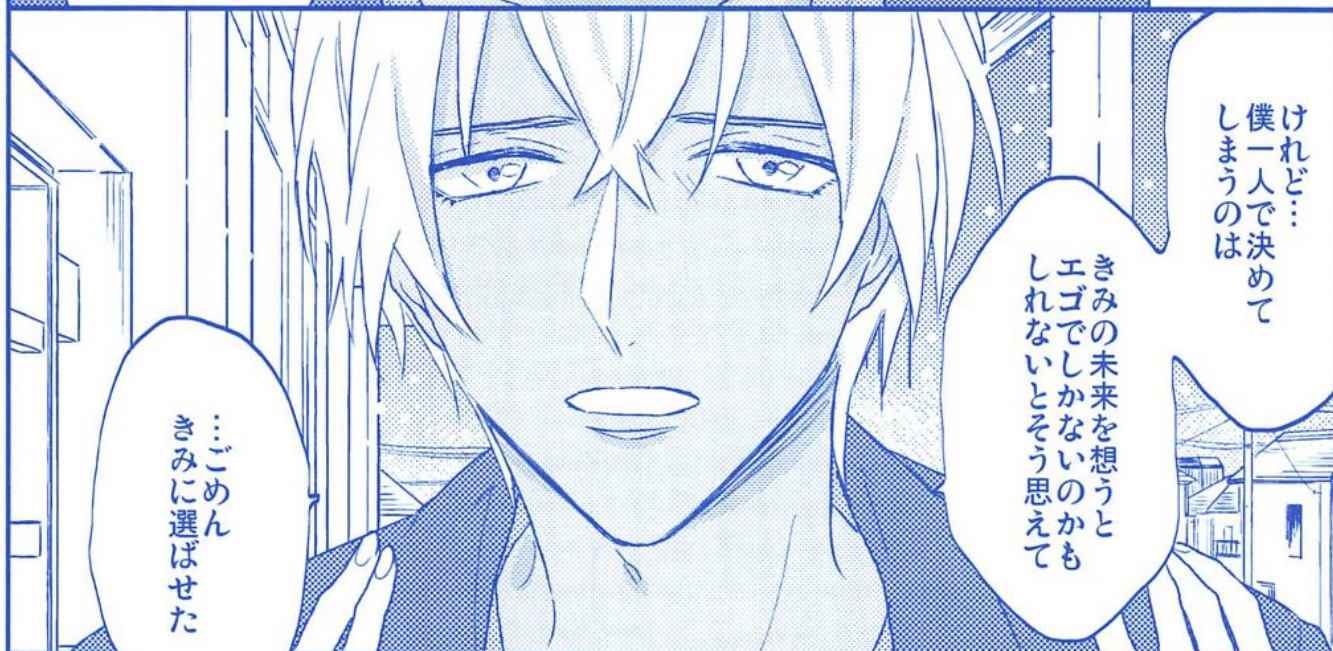






それでも
しなかった

きみに
会いたかったから



けれど…
僕一人で決めて
しまうのは

きみの未来を想うと
エゴでしかないのかも
しれないとそう思えて

…ごめん
きみに選ばせた



きっと出て
きてくれると

僕を迎えてくれると
そんな希望を抱いて…
選ばせたんだ



そうだったね…

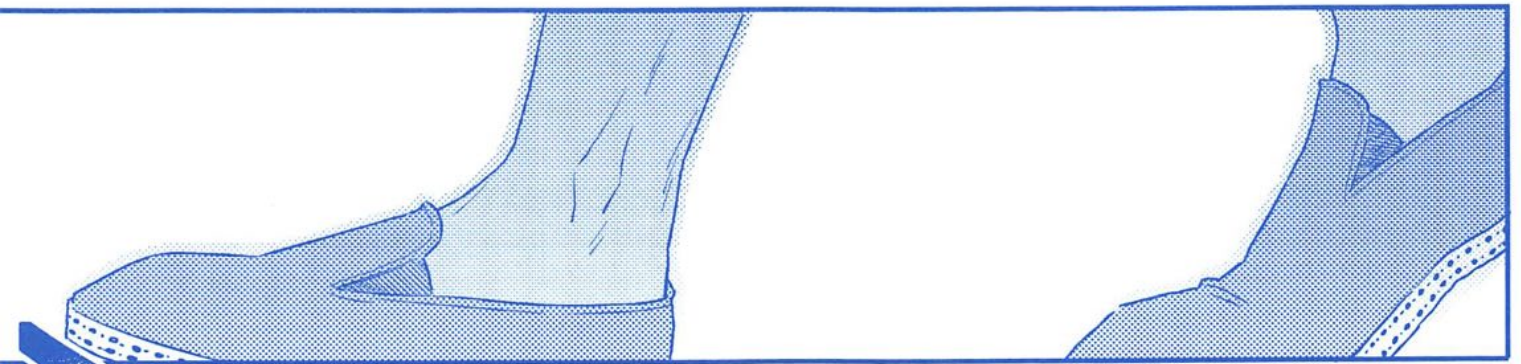
ずるい男のだと
教えたのは
僕自身だった

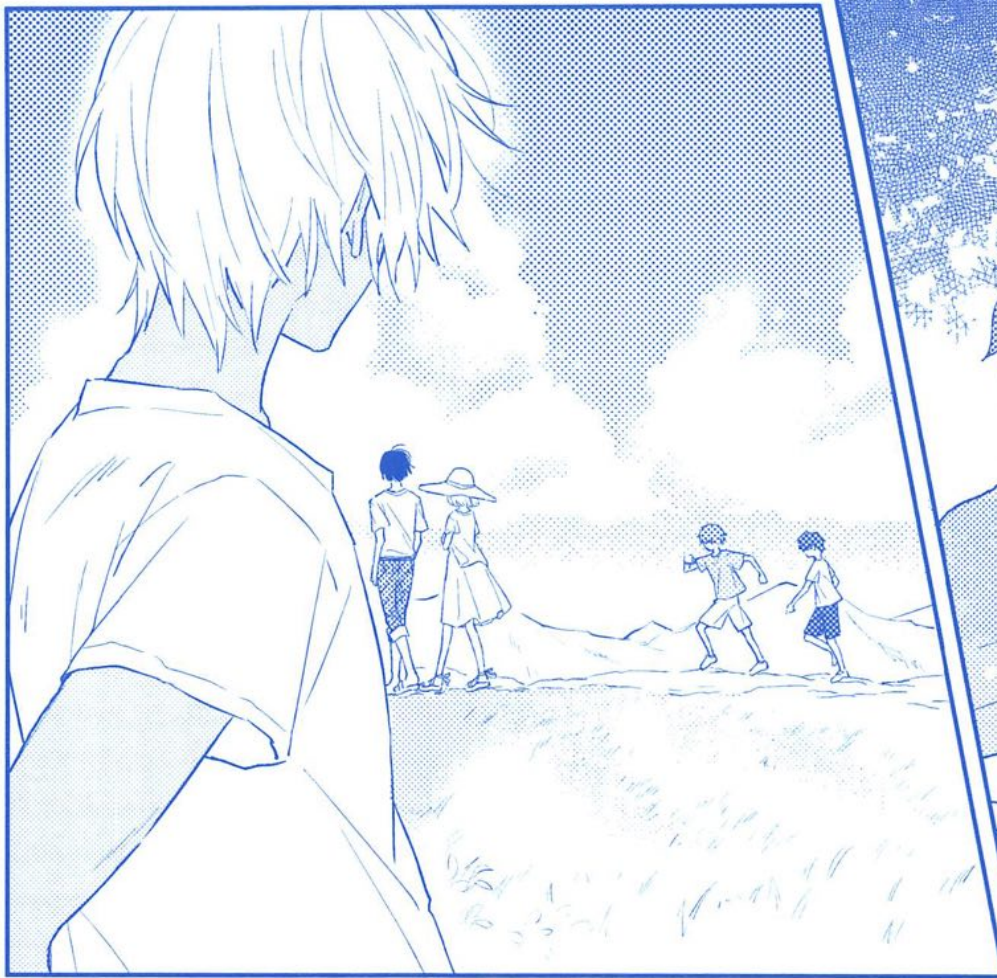


…そうやって
嘘にまみれた
俺の本当を
知っていった

そして好きだと
言ってくれる

こんな幸せなこと
あつていいんだろうか





そうだな…
今だけはすっかり
気が抜けている、
のかもしれない

いや？
これでも息抜きは
上手い方だからね

料理をするのも
愛車を綺麗にして
走りに行くのも

全部、ギリギリの
状況の中で
得たものだから

好きなもの
ばかりなんだ

昔から…
変わらないし
増えていくし

ここはそうやって
俺を繋ぎとめる

ん！…

俺が俺のために
っていうのも
勿論あるし

この国のすべてを
すべての為に…
それも間違いじゃない

でももう
それだけじゃ
ないさ

ここは俺が守る
きみのための世界だよ

さ
み
の
た
め

世
の
界



好きになってもいいですか?

中森青葉の探偵小説

2018.08.10 issue#03
detective conan un official fanbook
格闘型と盗み癖と怪盗
presented by noa

pixiv=4372483
twitter=AX_noa
http://noa.mods.jp
noa.xry@gmail.com

水戸黄門の探偵小説
出品・監査監修・監査録録
即座ニヤロ
即座ニヤロ
即座ニヤロ

Special Thanks 
ゆえ背景までありがとう
12月まで待つてくれた神
なるみ♡ (17X)♡



△感想フォーム



あそびの
世界